

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

教育施設課長 井手久武

電話番号

0852-22-5909

事務事業の名称	公共下水道接続事業	
目的	(1) 対象	県立学校の児童生徒
	(2) 意図	より良い環境で学校生活を送れるようにする。
事業概要	県立高校の立地する各市町村の公共下水道供用開始に合わせ、既存の浄化槽を撤去し、公共下水道に接続する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 公共下水道への接続割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 接続済みの学校施設数/市町村計画に基づく供用開始区域内の学校施設数	実績値	100.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	692	13,752
うち一般財源 (千円)	192	13,752

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

・市町村の下水道整備計画を確認し、供用開始予定年度合わせた接続工事を計画し、接続可能なものは接続している。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

- ・公共下水道により汚水処理を実施することにより、学校衛生環境が向上された。
- ・既存浄化槽の撤去により、維持管理の負担が軽減された。
- ・H27接続校なし (下水道整備計画がなし)

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

②困っている状況が発生している「原因」

③原因を解消するための「課題」

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・市町村の供用開始計画を事前に把握し、遅延することなく事業を実施する。

9. 追加評価 (任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。